

市議会 6月定例会

市議会六月定例会が、六月二十一日から二十八日まで、八日間の会期で開かれました。
市長の行政報告を中心に、議決された主な議案などをお知らせします。

市民の幸せを願って 市の将来計画を検討中

市長の行政報告

から原案作成に入っています。主要な骨子を次のとおり決定しました。

素案のまとめは十月ころ 第三次基本講想と総合計画

このことにつきましては、四月



基準年次 昭和六十年
目標年次 昭和七十五年
将来人口 目標年次六万人
基準年次の人口が四万五千人です。すから一年間に千人ずつ増えるという計算であります。また、目標年次からさらに十年後、または、二十年後の構想年次も検討します。現在は中堅職員による専門部会を設け、作業を進めています。今後はおおむね十月に素案をまとめ、審議会を設置して諮問し、早ければ三月定例議会に提案したいと思っております。

黒字は一億三千万円余り 五十八年度一般会計決算

昭和五十八年度の一般会計決算額は次のとおりです。
歳入 八億一、三五三万二千元
歳出 七億八、六五三万一千元
差引 三億二、七〇〇万一千元
五十九年度繰越額 一億九、〇六五万七千元
実質決算残額 一億三、六二四万四千元
これは、極力経費の節減に努めたことなどによるものです。

楽観を許さない今年度予算

四月一日発生した旧葛塚小学校の火災による建物損害共済金は、一億七百八十八万三千円の交付を受けました。これを財源として、火災の跡始末、関連する駐車場建設工事費の財源振替、市役所分館の撤去と代替建築工事費等にあてました。なお、四千三百四十九万三千元を財源として保留しました。

存続か廃止か県競馬組合 昨年度四億八千万円の赤字

新潟県競馬組合が、五十八年度決算で四億八千二百五十九万三千円の赤字を出しました。今年度もすでに五回開催していますが、売上げは前年同期の八一・五パーセントです。経費を極力節減し、新潟市女池にある組合事務所を売却処分するほか、再建策を検討していますが、将来の見通しは立っていません。むしろ、廃止したらと

水道事業の再建計画

水道会計の財政再建につきましては、実情調査に基づく計画を検討し、運営審議会の意見を聴いて実施計画を立てました（五ページ参照）

将来予測に多くの問題があつて数字をあげての計画はまだできていませんが、今年度のなるべく早い時期に計画を決定したいと思っています。

本町通りなど県と交渉中 市街地の道路網整備

豊栄中央土地区画整理事業は、三月議会の結果により計画を中止し、建設省から五月二十二日、取消し決定を受けました。最善の策はできなくなり、次善の策を色々検討してまいりましたが今のところ、まだ決定していません。中央土地区画整理委員会は、先般の会議を最後に解散いたしました。

川前地区を市街化区域へ

市街化区域と市街化調整区域の見直しについては、若干の変更案を県知事に提出しました。川前地区の六・七ヘクタール、正尺地区の一・四ヘクタールを市街化区域へ編入し、木崎地区の新バイパスと新発田川の間十一・二ヘクタールを市街化調整区域へ編入するというものです。

総額約七千三百万円 豪雪対策関係費

今年の冬の豪雪対策関係費は次のとおりです。

除雪関係費 五、八七四万〇千円
除雪損害賠償費 四九一萬三千元
市有建物防除雪・修繕費等 一〇七万六千元
その他施設防除雪・修繕費等 五三七万〇千円
世帯擁護関係費 二二万一千円
農業施設災害復旧補助費 三二八万四千元
合計 七、三三九万四千元

埋立処分地を買収予定

聖籠町と共同の豊栄郷清掃施設処理組合の埋立処分地は、今年度用地買収の予定であります。場所については、完全管理の利便性を考えると現在焼却場のある隣接地が適当であると思っており、用地買収の準備を進めています。そのことについての説明会を近いうちに開く予定であります。

水銀使用器具を全面回収

水銀を含む乾電池の処理方法が今、大きな社会問題となっており、当市では、水銀電池、水銀を使用した器具の回収を販売店の協力を得て、六月十五日から実施

厚生省基準より低額 市の保育料平均額

保育料については、厚生省基準によるようにと自治省からの強い指導があります。また、保護者から保育料の引き下げの要望がありこの請願は議会で採択されました。これら両面と市の財政事情を考慮合わせて、今年度の金額を次のように決定しました。
・三歳未満児は前年どおりに据え置く。
・三歳及び四歳以上児については四月から七百元から最高千四百円で引き上げる。しかし、不均衡は正の見地から再検討した結果、七月分から引き上げ額を三百円にとどめることとする。

これらによって、市の保育料の平均額は、厚生省基準額に対し、一人当たり二千四百円、率にして八・四パーセント低額になります。